

**令和6年度 施設指定管理者  
モニタリングレポート(年次評価報告書)**

施設名	南部児童館
指定管理者名	株式会社ポピンズエデュケア
指定期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日 (2期5年目)
所管課	子育て支援課

**1 業務履行の確認・評価**

適正な施設の運営・維持管理が行われているか。	年次評価
	B
<p>【施設の運営に関する基本的事項】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・重大事故・ケガ等なく安定的な運営ができています。</li><li>・施設の老朽化に伴い様々な箇所が破損しており、都度報告しながら修繕できるものは修繕し、安全管理に努めた。</li><li>・利用者数が前年度比▲23.9%であった(全館平均▲16.4%)。</li></ul> <p>【自主事業に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・春休み・夏休みは毎日日替わりで職員がイベントを行った。</li><li>・更生保護女性会の協力を得ながら、お抹茶会、おこしもの作りなどの行事を実施した。</li><li>・昨年度に引き続き中学生のボランティアも受け入れ、子どもの成長の場となるように環境を整えた。</li></ul> <p>【施設の維持管理業務に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・エアコンクリーニングや樹木剪定、カーペット清掃を定期的にしっかりと行った。</li><li>・駐車位置が分かりづらいとの声があり、駐車場のトラロープを改修。</li><li>・男女共用だったトイレが改修され、利用しやすい施設となった。</li></ul>	

**2 サービスの質に関する評価**

提供するサービスの水準が確保されているか。 また、サービスの向上が図られていたか。	年次評価
	A
<p>【利用者アンケート(満足度調査)に関する事項】</p> <p>&lt;調査の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和7年2～3月に利用者アンケートを実施。</li></ul> <p>&lt;調査結果の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・利用者からは感謝の声が多く寄せられた。</li><li>・親子で楽しい時間を過ごせ、安心感や心強さを感じているとの評価がある一方で、本や漫画の充実、長期休み中に幼児が遊べる専用スペースの確保といった要望も寄せられた。</li></ul> <p>【自主事業に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童館が学びの場であるという意識がスタッフ間で共有されており、新規事業の積極的な実施に繋がっている。</li><li>・その中でも、理科系イベントの充実は特筆すべきであり、学校とは異なる視点からの学びや体験を提供している。</li></ul> <p>【サービス水準や利用環境に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・昨年度のアンケート結果を受け、1年生から参加可能なイベントを企画したり、長期休暇中に日次行事とは別で出前講座によるイベントを実施した。</li><li>・昨年度の利用状況を参考にして、年齢に合わせて部屋を分けた環境を作った。</li><li>・利用者の声を参考にして、集会室の壁面に保育園の情報を掲示した。その掲示がきっかけで保護者同士で情報交換を行っている様子も多く見られた。</li></ul>	

### 3 サービス提供の継続性・安定性に関する評価

<p>健全な収支状況のもと、継続的・安定的にサービスが提供されているか。 また、団体の経営状況は健全か。</p>	<p>年次評価</p> <p><b>B</b></p>
<p>【施設の収支状況に関する事項】 南部・西部・ひまわり児童館 共通事項</p> <p>・指定管理料(令和6年度決算額48,800,000円)の中では館自体の事業収支は赤字であるものの、企業全体としての事業収支は安定しており、継続的にサービスを提供することができている。</p> <p>【団体の経営状況に関する事項】 南部・西部・ひまわり・コスモス児童館 共通事項</p> <p>(株)ポピンズエデュケアの経営状況の分析</p> <p>・第38期(2024年1月1日～2024年12月31日)の損益計算書では、売上高が前期より増加している。</p> <p>・売上高から売上原価を差し引いた売上総利益金額、販売費及び一般管理費、営業利益も前期より増加している。</p> <p>・特別損失の減損損失があることにより当期純利益金額がマイナスとなっている。</p> <p>・貸借対照表の純資産の合計から、財務内容は良いと言える。</p>	

<p>総合評価</p>	<p><b>A</b></p>	<p>【審査委員会コメント】</p> <p>理科系の新規事業が充実しており、学校とは異なる体験を提供してきた点は評価できる。また、お抹茶会やおこしもの作りといった伝統文化を軸とした活動は、地域特有の文化に触れる貴重な機会であり、コミュニティでの児童館の役割を拡大する意義深い取組である。その他、子育て支援の機能として保護者からの相談に丁寧に寄り添う対応も親子関係の支援に繋がっている。</p> <p>日々の活動の中でアンケート結果や利用状況に応じた対応をとるというように、ニーズを的確に捉える姿勢により、当館が、利用者や地域にとって必要不可欠な存在としてさらなる飛躍を遂げたといえる。</p>
-------------	-----------------	--

#### 【年次評価】 (評価基準)

- S(優良) : 区分評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A(良好) : 区分評価が全てA以上。
- B(課題あり) : 区分評価にBがあった。
- C(要改善) : 区分評価にCがあった。

#### 【総合評価】 (評価基準)

- S(優良) : 市の要求水準を上回るサービスが提供されている。
- A(良好) : 市の要求水準に沿ったサービスが提供されている。
- B(課題あり) : サービスの内容の一部に課題がある。
- C(要改善) : サービスの内容に改善が必要である。